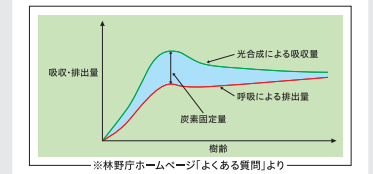
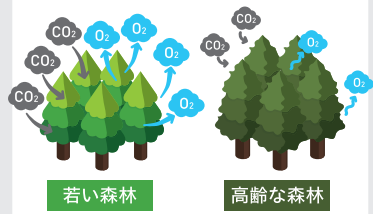


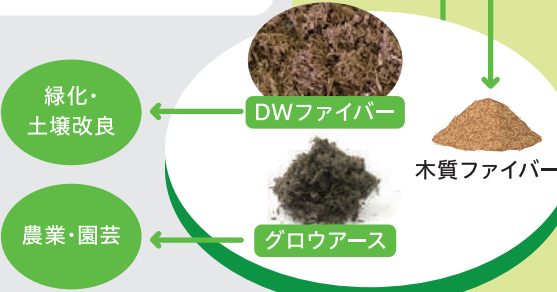
### 森林は炭素を吸収して固定する「炭素の貯蔵庫」



### 適度な伐採によりCO<sub>2</sub>吸収機能を最大限に

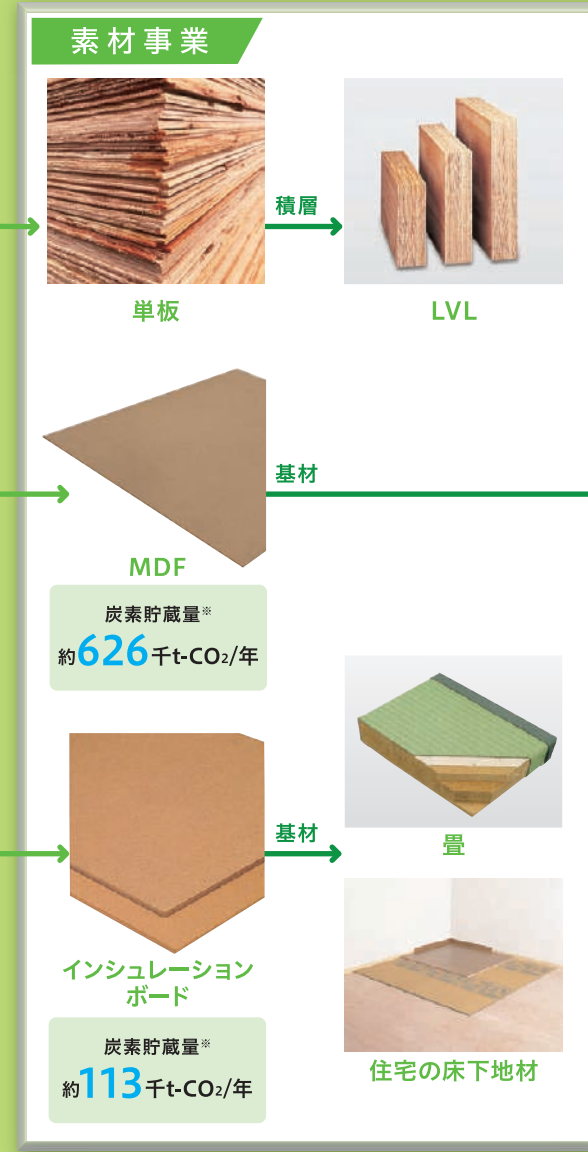


成長期の森林は、成熟期に比べ、より多くのCO<sub>2</sub>を吸収する働きがあります。森林の成長サイクルに合わせて適度に木を伐採し、新たに木を植えていくことで、森林が持つCO<sub>2</sub>吸収機能を最大限に引き出すことが可能となります。



### 木材をマテリアルとして使い続けることで

木材の価値を最大限に引き出し、マテリアルとして長く



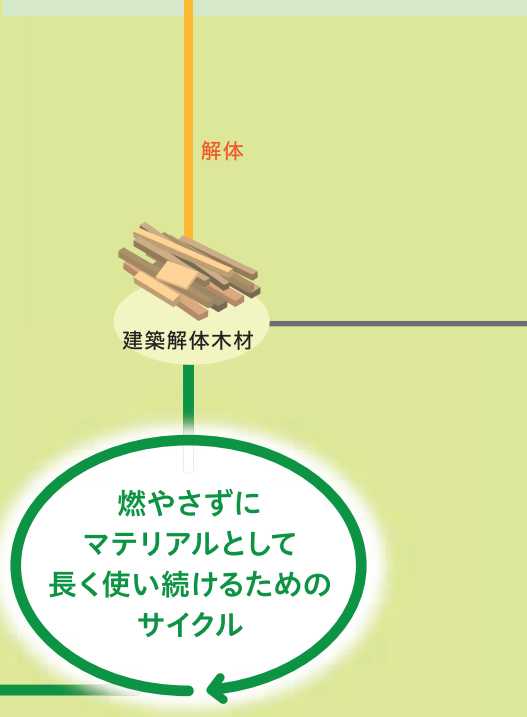
### 炭素を貯蔵し続けることが可能に

使い続けるための事業活動を行っています。

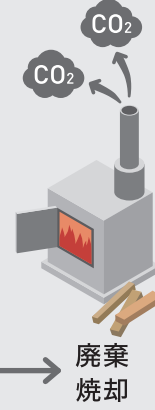


### 木材の活用により「第2の森林」を形成

森林に蓄えることができる炭素量には限りがあります。木材をさまざまなマテリアルとして活用するシーンを広げることで、人々の生活空間を豊かにしながら、より多くの炭素を貯蔵することが可能になります。



排出されたCO<sub>2</sub>は森林により吸収



※2022年度 林野庁「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」の計算方法に準じて算出